顧客と従業員の体験を高めるクラウドコンタクトセンターの実践

清水 幸典

プロダクティビティー アプリケーションズ事業本部 CX事業部 Amazon Connect スペシャリスト ソリューションアーキテクト アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社



自己紹介

名前:清水 幸典 (しみず ゆきのり)

所属:

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社

Amazon Connect スペシャリスト ソリューションアーキテクト

経歴:

国内Slerでシステム開発、ネットワーク構築/運用に従事 ビデオ会議製品、セキュリティ製品のプリセールスエンジニア

好きなAWSサービス: Amazon Connect, AWS Ground Station



内容に関する注意点

本資料では収録日時点のサービス内容および価格に基づき説明しています。

ご紹介する機能の一部は日本語に対応していないものや、プレビュー リリースのものがあります。

• 最新の情報はAWS公式ウェブサイト(http://aws.amazon.com)にて ご確認ください。



アジェンダ

- コンタクトセンターにおける顧客体験/従業員体験
- クラウドコンタクトセンターによるイノベーションの実現
- 顧客体験/従業員体験向上のファーストステップ
- まとめと次のステップ



従来の顧客体験、新しい顧客体験

モバイルデバイスの機種変更時における顧客体験(CX)の例



お客様の課題の理解に時間が掛かり、顧客体験が低下



お客様の課題をスムーズに解決し、顧客体験が向上

https://www.youtube.com/watch?v=oMAnsRECYyo



快適な顧客体験を提供するための奮闘















コンタクトセンター従業員の体験(EX)



従業員体験を低下させる要因

- 効率化の追求による疲労
- 独立した多数のツール
- 長時間の連続した顧客対応
- 単純な問い合わせの繰り返し
- フォローアップ作業の負荷
- 顧客のクレームによる長時間対応
- タイムリーな支援の欠如
- 定量的でない評価



従業員体験が低下した結果

- 優秀な人材の流出
- 雇用の確保が困難
- 顧客体験の低下
- ビジネス状況の悪化



コンタクトセンターにおけるCX/EXの課題

無駄な時間や労力、顧客満足度低下の要因を探る



回答に辿り着けない問い合わせ方法 解決に結びつかないセルフサービス 一貫性がない機械的な応答 必要以上の複雑さ



発信者の認証にかかる稼働が多い 顧客状況のリアルタイムな把握が困難 サイロ化したシステムやツール フォローアップの管理ができない



Amazon Connect

使いやすいオムニチャネル対応のフルクラウドコンタクトセンター

コールフロー、ルーティング、 エージェント管理、チャネル管理を 1つのアプリケーションで実現





ダイナミックかつパーソナライズ、 自然な自動化による顧客体験を実現



リアルタイムおよびヒストリカル分析を 標準実装し、簡単にかつセキュアに データへアクセス

AI/MLの導入により 顧客とエージェントの 体験を向上



数十席から数万席の 規模まで対応



セルフサービスの設定により 即座にイノベーションを実現

利用した価値に応じた従量課金制



クラウドコンタクトセンターによる継続的な改善

アジャイル手法を用いた継続的な業務改善を迅速に効率よく実施



クラウドコンタクトセンターの迅速な革新サイクル

ローンチから4年間で170以上のメジャーアップデートを実施

最近の機能追加

- High volume outbound communications (Preview)
- Amazon Connect Wisdom
- · Amazon Connect Voice ID
- Amazon Chat messaging streaming APIs
- Programmable Contact Center APIs
- Customer Profiles connectors for Shopify and Segment
- Customer Profiles identity resolution, flow updates
- Improved agent application
- Apple Business Chat for Amazon Connect
- New regions: Korea

Automatic agent status change	Per-second billing	Real-time customer voice stream	Contact flow import/ export	Salesforce CTI adapter	ISO compliance	Contact Lens	Multi-block editing	User management API	Natural text- to-speech voices
Asia Pacific (Tokyo) Region	Real-time analytics dashboard	Contact flow block copy/ paste	Conversation logs	Chatbots	Amazon Lex languages: Spanish, French, and German	ML-based PII redaction	AWS CloudTrail support for Amazon Connect APIs	Agent event streams	Contact attributes API
User hierarchy API	SOC compliance	AWS CloudTrail integration	Output file storage	Conversation al speaking style voices	Chat for web and mobile	Whisper flows	Europe (London) Region	Agent connection time metrics	Speech synthesis markup language support
Tagging support	Telephony metadata	Resource config APIs	Contact flow looping	Metrics and reporting	Auto queues call transfer	US West (Oregon) Region	Contact flow versioning	Customer voice stream	Automated queue callbacks
SSO SAML 2.0	Pause/ resume call recordings	Interactive chat messages	Dynamic range compression (DRC) tag	NA/EU/APAC telephony pricing decreases	Contact flow AWS Lambda functions	PCI-DSS compliance	Queue metrics API	HIPAA	One-click drill downs for real-time metrics

Amazon Connectによるイノベーションの実現

新たな顧客体験と従業員体験



人工知能と機械学習を活用したコンタクトセンターの強化





利用者視点で最短の解決に導くチャネルを提供

新たな顧客体験





Chat messaging streaming API によるサードパーティー メッセージングサービスとの連携



AIによるセルフサービス体験の向上

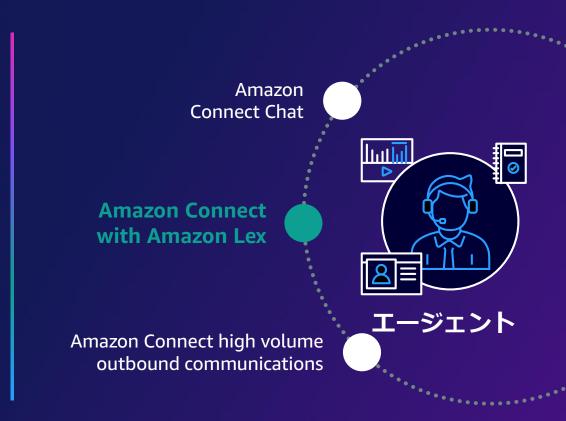
新たな顧客体験



従来の体験

- 解決までの長い待ち時間
- 顧客ロイヤリティの欠如

- 顧客の待ち時間の削減と 自己解決率の向上
- 自然言語とAIによる対応
- 顧客取引状況に応じた対応



パーソナライズされたアウトバウンドコール

新たな顧客体験

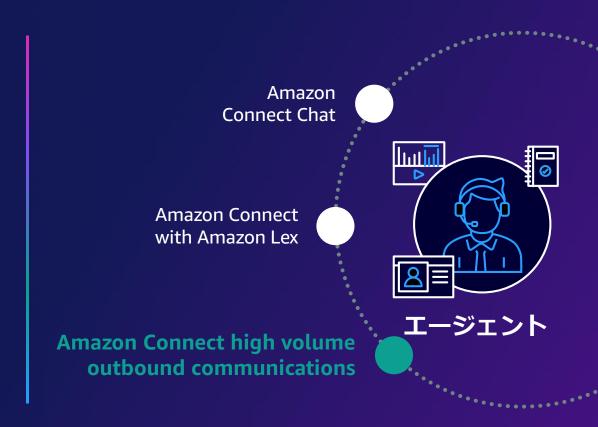


新しい体験

- アウトバウンドコールの AI/MLによる最適化
- 個々の顧客状況に応じた アプローチ

プレビューリリース

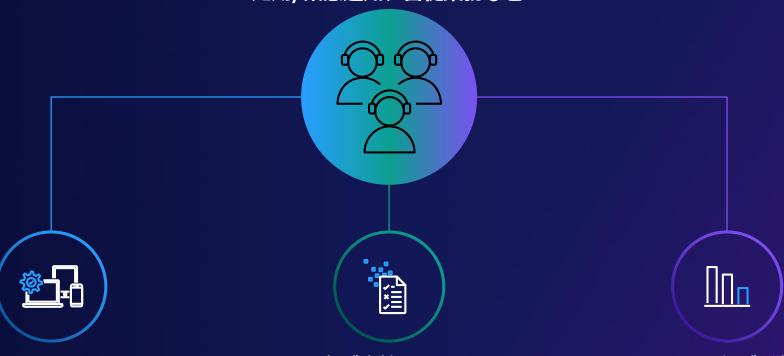
High volume outbound communications



(注) バージニア北部、オレゴン、ロンドンリージョンでプレビューリリース

アウトバウンドコミュニケーションの課題

新製品やキャンペーン案内、 定期/緊急通知、督促業務など



電話、SMS、電子メールの アプローチが別々に行われ ジャーニーが管理されていない 顧客が応答しやすい 時間帯やチャネルが管理されて いないため効果が薄い

エージェントが手作業で 電話を発信し、全ての顧客と 対応するため効率が悪い

効果が少なく、作業効率の悪いアウトバウンドコール



アウトバウンドダイアルの自動化

AMAZON CONNECT HIGH-VOLUME OUTBOUND COMMUNICATIONS (PREVIEW)

顧客リストをもとに自動的に電話を発信し 生産性の向上と顧客開拓を支援

- Amazon Pinpointと連携し、音声、SMS、電子メールの オムニチャネルによる顧客へのアプローチを簡単に開始
- 機械学習を利用した留守番電話検知、発信制御
- 1 プ<mark>ログレッシブダイヤリング</mark> エージェントが空いている時だけ発信
- 2 プレディクティブダイヤリング エージェントの空き状態や、平均通話時間に基づく インテリジェントな空き予測によって発信ペースを調整







アウトバウンドマーケティングとしての活用

コンタクトセンターを強力な顧客開拓ツールに変化

従来のアウトバウンドコール運用













顧客リストを元に エージェントが手動発信 顧客の応答を待ち、 留守電や話中の場合は 切断して次の顧客へ 発信 顧客が出たら、 エージェントが 本人確認を実施 エージェントが キャンペーンに興味が あるかを確認 エージェントが キャンペーンの 内容説明を実施

新たなアウトバウンドコール運用











1

セグメント化された顧客 リストを元に **エージェントの空き状況** を確認しつつ、顧**客に 効果的な時間**に自動発信

留守電や話中の場合は 切断して**次の顧客へ 自動発信** 顧客が出たら、 音声ボットが本人確認 を実施 **音声ボットが** キャンペーンに興味が あるかを確認 エージェントに交代し、 キャンペーンの 内容説明を実施

(注)バージニア北部、オレゴン、ロンドンリージョンでプレビューリリース



顧客の期待に応えるために

顧客の期待



解決に近い チャネル



セルフサービス オプション



ストレスの少ない アプローチ

AWS / Amazon Connect



チャット、SMS、 メッセージ連携



AI/MLを活用した セルフサービス



インテリジェントな アウトバウンド コミュニケーション







リアルタイム声紋分析による本人認証

AMAZON CONNECT VOICE ID



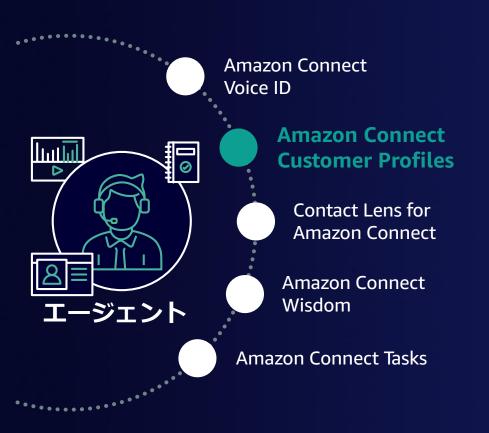
従来の体験

- 顧客ロイヤリティの欠如した本人確認手続き
- 個人情報/機密情報を伝えるセキュリティの懸念
- 本人確認手続きにかかる待ち時間

- エージェントとの数秒間の対話で本人確認が完了
- 自動応答による本人確認結果をエージェントへ 引き継ぎ可能

統合した顧客情報を1つのインタフェースで表示

AMAZON CONNECT CUSTOMER PROFILES



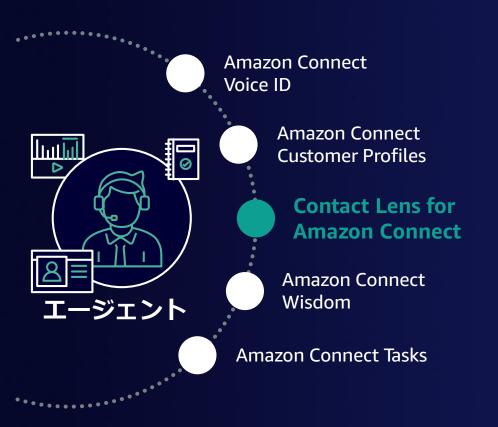
従来の体験

- 顧客との通話中に複数データベースを操作しながら 顧客情報を検索
- 受付チャネル毎に異なる顧客データベースを操作

- 異なるチャネルを跨がった顧客ジャーニーの把握
- 顧客の着信電話番号等を元に複数データソースから 検索した顧客の詳細情報を自動的に表示
- 顧客データを活用し、パーソナライズされた応答や 最適なエージェントへのルーティング

リアルタイム感情分析とプロアクティブなサポート

CONTACT LENS FOR AMAZON CONNECT



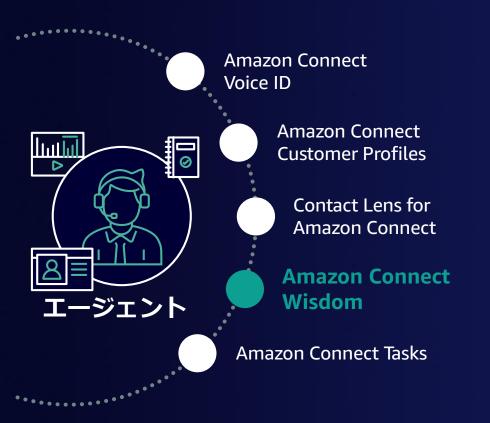
従来の体験

- スーパーバイザが問題の起きている通話を リアルタイムに把握することは困難
- 過去の対応状況を全て聞き直すことは非現実的

- 顧客の発言した特定ワードからアラートを受けて スーパーバイザが状況を把握しフォローアクション を実施
- ・ 過去の通話記録を特定ワードや感情推移で 検索することで、エージェントの定量的評価が可能

リアルタイムレコメンドによる回答検索支援

AMAZON CONNECT WISDOM



従来の体験

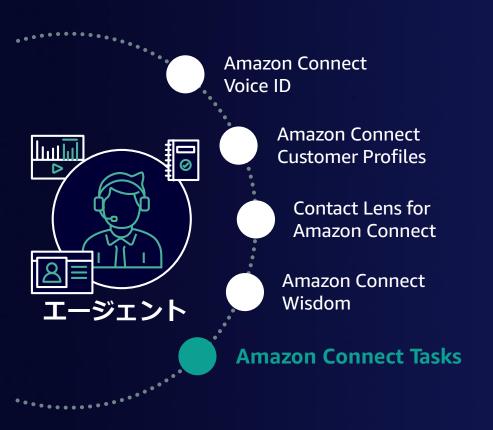
顧客との通話中に複数のナレッジを操作しながら 最適な回答を検索

- 対話中のキーワードから関連性の高いナレッジを 推奨表示
- 顧客の質問に対して1つのインタフェースから複数 のナレッジを横断検索し、最適な回答を迅速に発見



顧客への重要なフォローアップを自動化

AMAZON CONNECT TASKS



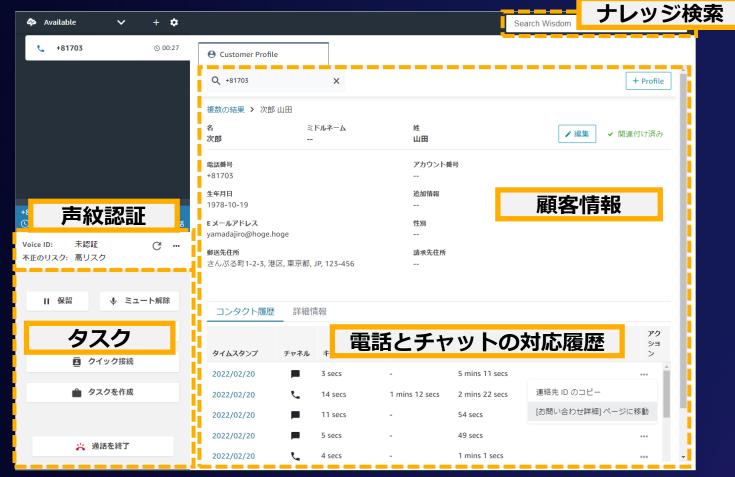
従来の体験

- 顧客のフォローアップで発生する作業を定量的に管理することが困難
- フォロー作業の追跡ができず、実施状況が把握困難

- ・ コンタクトセンターのKPIとして管理可能
- 顧客へのリマインドをスケジュールしておくと、 設定日時に顧客へコールするTaskが作成され、 対応可能なエージェントに割り当て
- 顧客がアンケートで低評価をつけた際、コーチングのTaskが作成され、スーパーバイザに割り当て

統合エージェントデスクトップをすぐに利用可能

AMAZON CONNECTのエージェントエクスペリエンスを向上



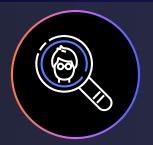
[Agent App] https://instance name.my.connect.aws/agent-app-v2/ https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/connect/latest/adminguide/customer-profile-access.html

- Amazon Connectを導入した 日から、顧客体験/従業員体験 向上に有効な機能を利用可能
- ソフトフォンインタフェースを 強化し、顧客情報/対応履歴、 ナレッジ検索、声紋認証、タスク の機能を統合して提供
- 日本語サポート

(注) ナレッジ検索は英語のみサポート

従業員の期待に応えるために

従業員の 期待



本人確認の強化と効率化



顧客情報の 統合



通話抽出の省力化公平な評価



解決策を見つける 簡単な方法



フォローアップの 可視化

AWS / Amazon Connect



声紋による 本人認証



1つのインタフェースで 顧客情報を検索



通話記録の可視化 感情分析の付加



1つのインタフェースで ナレッジを横断検索

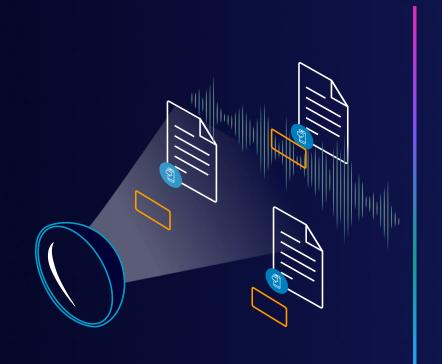


タスクの 自動作成と通知



Contact Lens for Amazon Connectを始めましょう

CX/EX向上のファーストステップ





スーパーバイザは二アリアルタイムに 問題を検知し、エージェントに支援が可能



エージェントは、通話中や通話後に スーパーバイザから顧客対応支援や フィードバックを受けられる



製品やサービスに関する顧客からの声を分析し、ビジネスの改善に活用可能



Contact Lens for Amazon Connectを始めましょう

CX/EX向上のファーストステップ



顧客体験の向上

- 顧客の問題をリアルタイムに解決
- フォローが必要な通話を抽出
- 通話引継の待ち時間を削減



従業員体験の向上

- 必要な時に支援を提供
- 顧客体験を良い例を抽出可能
- 対話中のメモを削減



スーパーバイザ体験の向上

- 通話記録をランダムに抽出せずに 注意が必要な通話を特定
- 録音やスクリプトを全て確認する ことなく会話の傾向を把握



ビジネスの改善

- ・顧客離れの防止
- コンプライアンスの統制
- 従業員の定着率向上

数ステップで機能を有効化

分析ツール

コンタクトセンターのパフォーマンスを監視し、分析ツールを使用して KPI を追跡します。

Contact Lens

Contact Lens for Amazon Connect は、Amazon Connect に統合された機械学習 (ML) 機能のセットです。コンタクトセンターのスーパーバイザーは、Contact Lens を使用することで、エージェントと顧客との対話における感情の動き、傾向、およびコンプライアンスリスクをより深く理解できます。スーパーバイザーは、この情報を使用して、エージェントのトレーニング、正常なやり取りのレプリケーション、および企業や製品についての重要なフィードバックの特定を行うことができます。Learn more 【名

✓ Contact Lens を有効にする



インスタンスでContact Lensを有効化する



2

コンタクトフローに 「記録と分析の動作を設定」を追加する

数ステップで機能を有効化

記録と分析の動作を設定 通話記録動作を指定し、Contact Lens の音声分析を設定しま 诵話記録 エージェント、顧客、またはその両方の通話記録を有効または 無効にします。Contact Lens を有効にするには、エージェント と顧客の诵話記録が必要です。 オン ○ エージェント および 顧客 ○ エージェント専用 ○ 顧客 専用 つ オフ

Contact Lens 音声分析

✓ Contact Lens の音声分析を有効にします。

Contact Lens は、通話のトランスクリプトや感情などの ML ベースの音声分析を提供し、顧客の問題や傾向を特定します。通話後分析を使用して、顧客のインタラクションの後に、トランスクリプト、感情、およびその他のデータの音声分析を取得します。リアルタイム分析を使用して、顧客のインタラクション中にトランスクリプトや感情分析にアクセスできます。 詳細はこちら

○ 通話後の分析

書き起こしの精度を最大限に高めるために推奨されます。

● リアルタイムおよび通話後の分析

ライブ通話のリアルタイムアラートと音声分析を有効 にします。

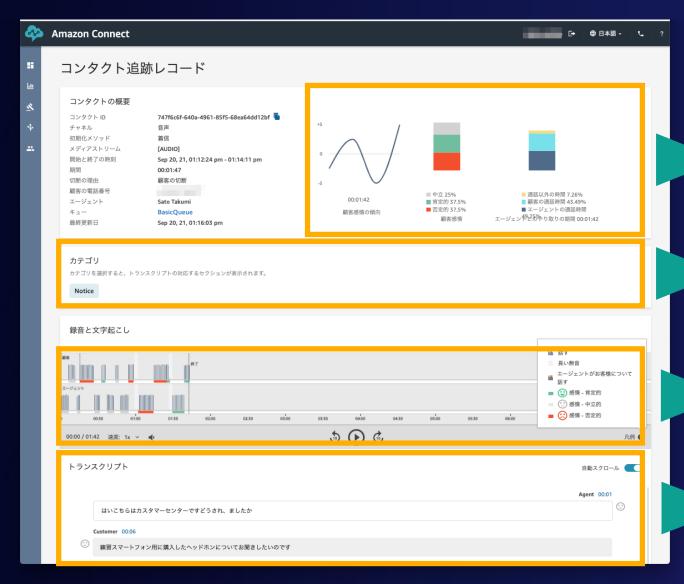
言語

手動で設定する

日本語 (日本)

3

通話記録を**オン**にする **Contact Lensの音声分析を有効**にする



感情分析結果のグラフ

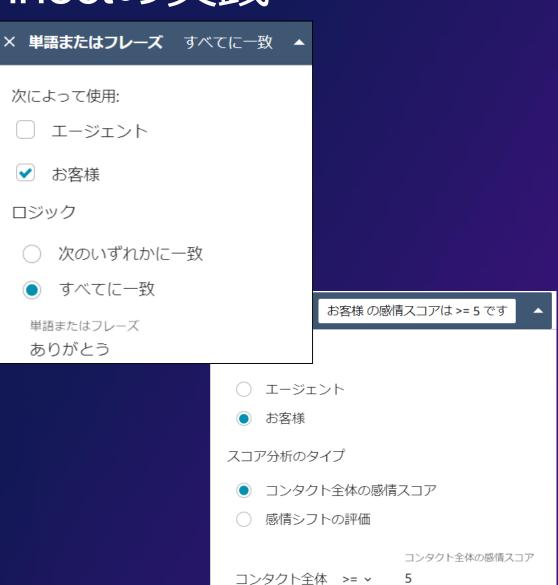
ルールにマッチしたカテゴリ

通話録音の可視化と再生(感情と声量)

話者毎のトランスクリプトと感情

高度な通話検索機能





拡張設定によるリアルタイムの通話分析



顧客が「解約」「返品」「不満」という 言葉を使用した場合に検知する

顧客が30秒間ネガティブな言葉を 使用した場合に検知する

拡張設定によるリアルタイムの通話分析



- 顧客が「不満」という言葉を発したことを 検知し、スーパーバイザへアラートを通知
- スーパーバイザはアラートからリアルタイム 文字起こしを参照して会話の状況を把握し、 対応中のエージェントに支援が可能

専門用語の認識精度を高める

新機能:カスタム語彙とAIを活用した対話の可視化支援

専門用語の認識精度と、略語・口語の可読性を高める



Phrase	IPA	SoundsLike	DisplayAs
すまほ			スマートフォン
きしゅへん			機種変更
こうさいにんしょう			虹彩認証
シムフリ			SIMフリー
ワイファイ			Wi-Fi

カスタム語彙 適用前



Contact Lens for Amazon Connectの料金

AWS 無料利用枠

Contact Lens の料金

\$Free

最初の500万分

\$0.015/分 \$0.0125/分

500万分以上

1ヶ月あたり、90 分間の音声通話の 処理料金が無料 (12 か月間)

利用可能なリージョン:

米国西部 (オレゴン)、米国東部 (バージニア北部)、カナダ (中部)、欧州 (ロンドン)、 欧州 (フランクフルト)、アジアパシフィック (シンガポール)、アジアパシフィック (ソウル)、 アジアパシフィック (東京)、アジアパシフィック (シドニー)

^{*} Amazon Connect に関するその他の料金については、 https://aws.amazon.com/connect/pricing/ を参照してください。

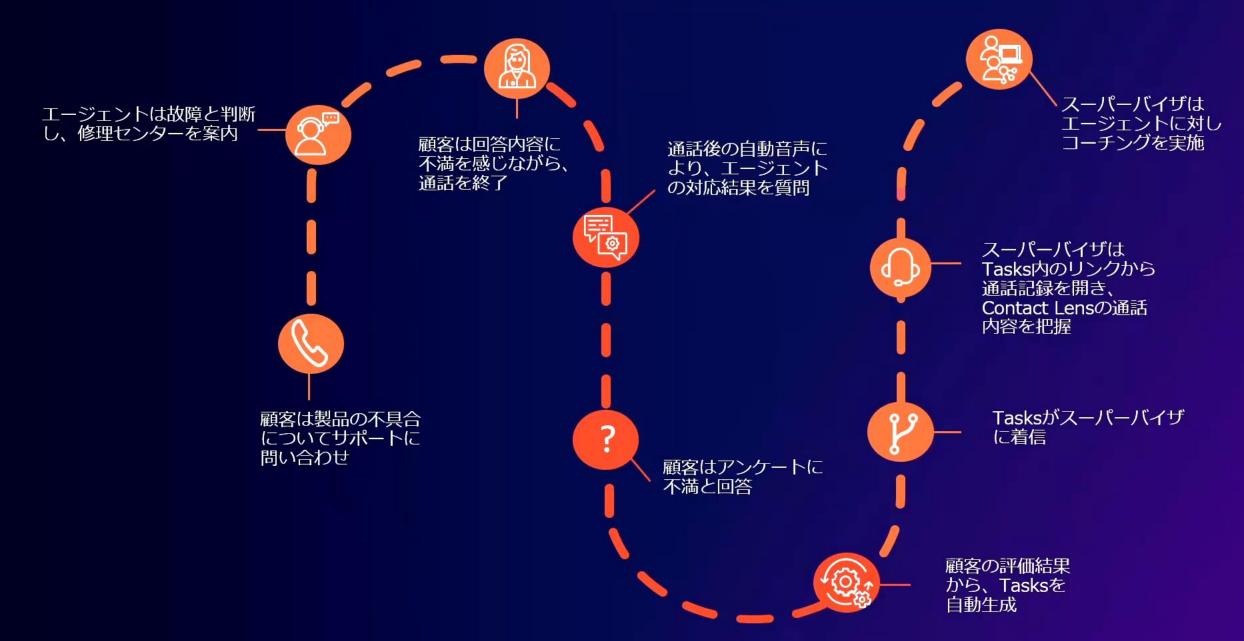


Demo

低い評価を受けた顧客対応の内容を スーパーバイザへ通知する

- Amazon Connect
- Amazon Lex
- Amazon Connect Tasks
- Contact Lens for Amazon Connect





プログラマブル・コンタクトセンター

サービスの差別化につながる体験を開発者が容易に構築



Amazon Connect APIs

ユーザ管理

ルーティングプロファイル

キュー

コンタクトフロー

インスタンス

クイック接続

ユーザ階層

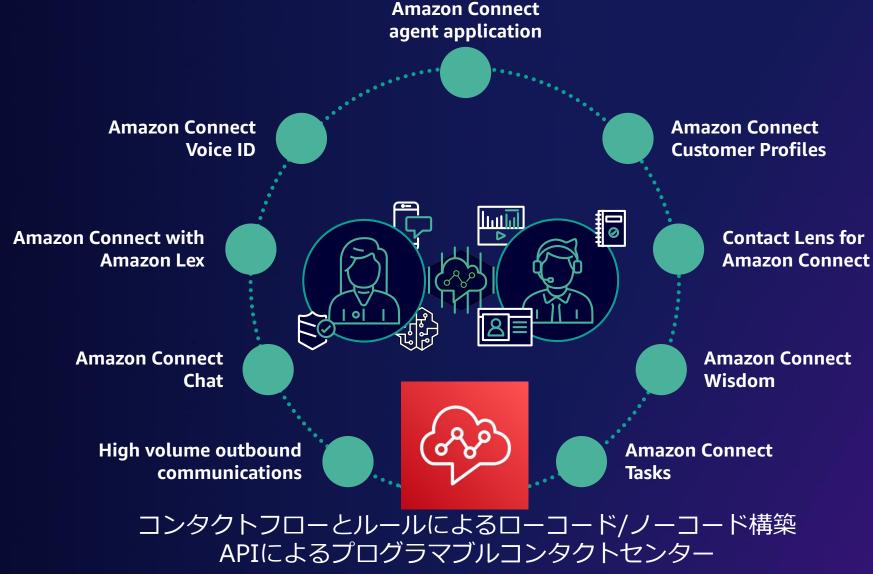
オペレーション時間

セキュリティプロファイル

エージェントステータス



顧客と従業員の利便性を向上





まとめ:顧客と従業員に優れた体験を提供







- 解決に最も近いチャネルを選択
- インテリジェントなセルフサービス
- 迅速でストレスのない対話
- 一貫かつパーソナライズされたサービス

- より早く、より安全な認証
- 顧客の状況をリアルタイムに分析
- 相互に連携したシステムとツール
- 重要なタスクのフォローアップを容易に



次のステップ:製品リソース

Amazon Connect

使いやすいオムニチャネルのクラウドコンタクトセンターで、優れ たカスタマーサービスを低コストで提供します。

Amazon Connect の使用を開始する

デモをリクエスト

数回のクリックでコンタクトセンター の設定や変更が可能なため、エージェ ントはすぐにお客様への対応を開始す ることができます。 従来のコンタクトセンターソリューションと比較して、最大80%のコスト削減が可能で、最低料金、長期契約、前払いライセンス料金は不要です。

また、需要に応じて簡単にスケールア ップ、スケールダウンができ、どこか らでも何万人ものエージェントを導入 できる柔軟性を備えています。

開始方法

Amazon Connect の詳細

Amazon Connect Voice、Chat、オムニチャネルルーティングなどをどのように利用できるかをご覧ください。

特徴のページにアクセスする»

Amazon Connect リソースセンターを見る

カスタマーエクスペリエンス (CX) とコンタクトセンターの領域は常に進化しています。 最新の AWS とお客様のベストプラクティスをご確認ください。

CX とコンタクトセンターの詳細はこちら »

Amazon Connect の料金を見る

Amazon Connect は、前払い、長期契約、最低 月額料金のない従量制料金サービスです。

料金ページを確認します»

https://aws.amazon.com/jp/connect/



次のステップ: AWSブログ

Amazon Web Services ブログ

Category: Amazon Connect



サンタは今、どこ? Amazon Connect と Alexaで特定する。

by 小木 郁夫(Ikuo KOBOKU) | on 20 DEC 2021 | in Alexa, Amazon Connect, Government, Public Sector | Permalink | ₱ Share

今回のブログでは、AWSジャパン・パブリックセクターより、「世界中の子どもたちが口にする質問、"サンタは今どこ?"に答えるための取り組み」について紹介します。ご不明の点、「Contact Us」までお問合せください。(以下、AWS Public Sector Blog へ掲載された投稿の翻訳となります。)

Read More



Amazon Connectのモジュールを活用して問い合わせフロー管理を簡素化する

by Kazuhisa Matsumoto | on 14 DEC 2021 | in Amazon Connect, Announcements, Technical How-To | Permalink | Announcements |

コンタクトセンター体験においてカスタマージャーニー全体を通して必要な、繰り返し可能なロジックがあることがよくあります。 Amazon Connect のモジュールを活用して、問い合わせフロー管理を簡素化する方法を見ていきます。問い合わせフローロジックを一度作成し、それを他の問い合わせフローから参照できるということは、休日チェック、認証、カスタムの繰り返し可能なビジネスロジックなどの実装を容易にするというお客様の要望でした。このお客様の要望に応えるため、問い合わせフローのモジュールエディターという新しいセキュリティロールを導入しました。これにより、ユーザーは、既存および新規の問い合わせフローの両方から呼び出すことができる問い合わせフローモジュールを作成、更新、公開できます。これにより、ユーザーはロジックの一部を問い合わせフローモジュールとして一度作成して公開したら、実装するたびにロジックを管理しなくても、多くの問い合わせフローで再利用できます。問い合わせフローモジュールへの変更は、それを呼び出すすべてのフローに影響します。チェックが必要なすべてのフローでこのロジックを複数回管理する代わりに、会社の休日チェックをすべて処理するモジュールがあるとします。一度ビルドして、プログラミングのサブルーチンと同様に呼び出します。さっそく見ていきましょう。

Read More



Amazon Connect - 機械学習を利用した通話要約機能を搭載

by Sébastien Stormacq | on 02 DEC 2021 | in Amazon Connect, AWS Re:Invent, Contact Lens For Amazon Connect, Events, Launch, News |
Permalink | F Share

AWS での私たちの使命は、データサイエンティスト、デベロッパー、ビジネスユーザーが機械学習 (ML) にアクセスできるようにすることです。企業が ML の力を簡単に利用できるように、機械学習と深層学習のテクノロジーをビジネスプロセスに直接組み込んで、企業が自社で整理するのではなく、実際の顧客ニーズに対応する専用ソリューションを作成します。 機械学習が影響しているのは、コンタクトセンターの内部です。つまり、顧客からの問い合わせや問題を受け取り、それに対応する場所です。カスタマーエクスペリエンス (CX) の役割が拡大し、電話や電子メールによるコンタクトレスコマースが増えているため、コンタクトセンターは企業の拠り所である。

https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/category/messaging/amazon-connect/



次のステップ:日本語ワークショップ

aws workshop studio

Contact Lens for Amazon Connect Workshop

1. 準備

2. Amazon Connectの設定

3. Contact Lensの設定

4. Contact Lensのルール設定

5. AI/MLを使用した効率的な通話
転送(オプション)

6. クリーンアップ

Contact Lens for Amazon Connect Workshop

Contact Lens for Amazon Connect Workshop



0

Contact Lens for Amazon Connect

Contact Lens 🗹 for Amazon Connect 🗹 は、お客様の会話の感情やトレンドをよりよく理解し、企業や製品の重要なフィードバックを特定することができます。また、コンタクトセンターにおける顧客との会話のコンプライアンスを追跡することで、標準的な挨拶や対話終了時のスクリプトが使用されていることを確認してエージェントのトレーニングに役立てたり、対話の成功例を再現することができます。スーパーバイザーは、すべてのトランスクリプトを高速でフルテキスト検索し、顧客の問題を迅速に解決することができます。また、リアルタイム機能により、顧客とのライブ通話中に問題が発生した場合にはアラートが表示され、通話中のエージェントに積極的なサポートを提供することができ、顧客満足度の向上につながります。

https://catalog.us-east-1.prod.workshops.aws/amazon-connect-contact-lens/ja-JP

次のステップ:ベーシックハンズオン



AWS Hands-on for Beginners
Amazon Connectによる基本的なコンタクトセンター構築

"AWS Hands-on for Beginners - Amazon Connectによる基本的なコンタクトセンター構築" 編では、Amazon Connectを利用してコンタクトセンターの構築・利用方法をを学んでいただくウェビナーシリーズです。Amazon Connectの概要をご理解頂き、実際に基本的なコンタクトセンターの構築を行います。電話を受ける際のオペレーションや管理者としてのオペレーションも行います。※本ウェビナーは2021年7月に公開されたものです。

Agenda

- 1. Amazon Connect の概要
- 2. ハンズオンで構築する構成の紹介、インスタンスの作成を行う
- 3. 電話番号の取得を行う
- 4. 問い合わせフローの作成のまえに
- 5. 問い合わせフローを作成する その1
- 6. 問い合わせフローを作成する その2
- 7. 問い合わせフローを作成する その3

下記のフォームよりお申し込みいただけます。
★ 私は、イベント登録規約、および AWS 行動規範 Code of
Conduct を確認し、同意しました。
* 勤務先メールアドレス:
*姓:
*名:
* 御社名:

https://pages.awscloud.com/JAPAN-event-OE-Hands-on-for-Beginners-Amazon-Connect-2021-reg-event.html

関連セッション



AWS-14

金融サービス業界でのAmazon Connect活用の広がり

Amazon Connectはビジネス要件にあわせて柔軟にカスタマイズできるクラウドコンタクトセンターサービスです。 このセッションでは、金融サービス業界のお客様の国内・海外 事例をご紹介します。Amazon Connectを用いてコンタクト センターをモダナイゼーションすることで、 顧客体験の向上や

効率化、セキュリティ・コンプライアンスの強化を実現する方法

について、事例を軸に詳細な技術解説を交えてお伝えします。

Thank you!

清水 幸典 shimizyu@amazon.co.jp

